

■科目名			
学校教育相談			
■開設年度	■区分	■学科名	■分類
2021	教職理解科目	心理学	
■単位数	■履修期	■履修条件	■開講期
2	3期		前
■担当教員			
森藤 悦子			
■代表教員名及び連絡先等			
研究室099-285-7774 内線7774 E-mail:morifuji@edu.kagoshima-u.ac.jp			
■オフィスアワー			
月曜3限（必ず、事前にメールで予約を取ってからお越しください。）			
■講義の概要（目的・内容・方法）			
学校教育との関わりの中で、幼児や児童生徒を正しく理解し、幼児や児童生徒そしてその保護者を援助する具体的な方法としてのカウンセリングの技術を学ぶ。（主に折衷のカウンセリングの立場から関係性の中での援助アプローチの実際を体験的に学ぶ。授業は、配布資料に基づく講義と、ロールプレイ等による演習を組み合わせた形式で行う。）			
■授業の到達目標及びテーマ			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 児童・生徒理解の方法を説明できるようになる。 2. 自己理解を深めることができる。 3. 基本的なカウンセリング理論について説明できるようになる。 4. 学校教育の場で実践できるカウンセリングに関して最も基礎的な技術を習得し、使えるようになる。 5. 他者に影響を与える「聴き方」や「傾聴」ができるようになる。 			
■授業計画			
<p>【授業計画・学習内容（予定）】本授業は、毎回対面式形式で行う予定です。なお授業形態、回数や内容等については、種々の状況により変更となる可能性があります。その際は、manabaのコースニュースや授業内においてお知らせいたします。</p> <p>第1回 オリエンテーション、（進め方や目標など）</p> <p>第2回 学校教育における教育相談の意義（学校現場でのカウンセリングと倫理）</p> <p>第3回 自己理解</p> <p>第4回 構成的グループエンカウンター（1）</p> <p>第5回 構成的グループエンカウンター（2）</p> <p>第6回 基礎理論1 子どもの発達</p> <p>第7回 基礎理論2 青年期の発達</p> <p>第8回 基礎理論3 発達障害</p> <p>第9回 カウンセリングの理論（1）基礎理論</p> <p>第10回 カウンセリングの理論（2）DVDによるカウンセリング場面の鑑賞（1）</p> <p>第11回 カウンセリングの理論（3）傾聴と聴くスキル</p>			

第12回 カウンセリングの理論 (4) DVDによるカウンセリング場面の鑑賞(2)

第13回 事例研究・カウンセリングの技法とロールプレイ (1)

第14回 事例研究・カウンセリングの技法とロールプレイ (2)

第15回 教育相談についてのまとめと振り返り、今後への活かし方

■授業外学習 (予習・復習)

予習：毎回の授業テーマに関して知識の整理をしていくこと。

復習：知識や技法を確実に習得するために反復して学習すること。

■受講要件

少人数クラス指定 (理科・技術専修) であるので、指定外のコマは受講を認めません。指定された期に受講しない場合や受講を放棄した場合は次期の履修を制限される場合があります。

■成績の評価基準

出席確認や講義内における小テスト+講義後の課題や振り返り：80点

最終レポート：20点によって評価します。ただし、本講義が体験的演習方式で進められるため、4回以上の欠席者は放棄扱いとします。

■教科書・参考書

参考書：生徒指導提要 (文部科学省)

その他必要な資料は、毎回manabaを通じて配布します。

■教師としての資質能力に関するチェック項目

7. コミュニケーション力

【B連携協働力、自己改善力の育成】他者とのかかわりや適切なコミュニケーションの在り方について基本的な理解を深め、自らそれを実践することができる

8. 自己改善力

【B連携協働力、自己改善力の育成】自らの課題を発見し、解決に向けた具体的な方法を企画・実践するとともに、結果を省察して改善につなげることができる

10. カウンセリングに関する理解

【C学習者理解】カウンセリングや教育相談についての基礎的な知識を身に付けており、それらの知識を学習者理解に活かすことができる

アクティブ・ラーニング

振り返り(ミニッツ・ペーパー等)；

アクティブ・ラーニング (その他)

ロールプレイ 構成的グループエンカウンター

アクティブ・ラーニング(授業回数)

15回

■実務経験のある教員による実践的授業

小学校・特別支援学校の勤務経験を有する教員が、教育相談の進め方等について指導する。

■その他

上記の授業計画は進捗を踏まえ、適宜調整・変更する可能性があります。

今後の新型コロナウイルスの感染状況によっては、授業形態の変更も有り得ます。その際は授業時の連絡およびmanaba等を通じて周知します。